

# ときめき人

Tokimeki bito



## 自己表現は 個性を育て やがて大きな自信に

豊里町・上町

### KICK-IT さん

きき  
(本名 佐々木 聖彦 さん)  
1980年生まれ 血液型/O型

#### Profile

1999年、専門学校でダンスパフォーマンスを2年間学ぶ。卒業後、ダンス活動をしなが  
ら、バックダンサーや振付師  
として活躍。現在、ダンス教  
室で代表兼講師を務める傍  
らEXPG STUDIO SENDAI  
校でダンスインストラク  
ターとしても活動中。



ダンスに興味がある人は、DANCE  
STUDIO GUIDANCE まで ☎080 (6796) 1004  
Twitter: @realkickit  
Facebook: @sasaki\_kickit  
Instagram: @kickitjapan, @guidance\_studio

「ダンスに対する苦手意識をなくし、踊る楽しさを知って欲しい」と笑顔で話す、ダンス講師の KICK-IT さん。

小学生の頃、地元<sup>かんまち</sup>に伝わる上町法印神楽に出会い、踊ることの楽しさを知る。高校時代から、ダンスの道を志し、ダンサー歴は17年。東京でバックダンサーや振付師として活動し、25歳の時、横浜市で開かれたレゲエダンスの大会で日本一になった実力の持ち主だ。

ダンスに触れる機会が少ないところで教えたいという夢と、子どもを伸び伸び育てたいと、2015年9月、妻<sup>つま</sup>子<sup>こ</sup>を連れ登米市にUターン。生活も落ち着いてきた16年4月、とよさとマイ・タウンクラブの協力により「DANCE STUDIO GUIDANCE」を開

いた。今では3歳から19歳まで約50人にダンスを教えている。地域のイベントが盛り上がると、お祭りなどにも招待されるようになった。

7月16日に開かれた塩竈みなど祭のダンスコンテストで、チームが最優秀賞を受賞。「うちのチームの子が一番生き生きしていた。親ばかりですかね」と目を細める。教え子はわが子同然。大会で踊る姿は、今までの努力を知っている分、輝いて見え「自分も頑張らないとなっていて思います」と語る。

「ダンスで自己表現ができると、個性が出て自信につながる。登米市の未来を担う子どもたちに、もっと自信を持たせてあげたい。やりがいがありますね」。そうほほえむKICK-ITさんは、これからもダンスの楽しさを伝え続ける。

## 編集後記

▼今号の特集は健康がテーマ。しかし、仕事に追われるうちに、どんどん自分が不健康に……。例年以上に暑い日が続くからこそ、いつも以上に体調管理が必要ですね。私の職場では、口内ヘルペスなど体調を崩している人がちらほら。忙しい時こそ、体調にはなお一層気を付けて頑張っていきたいと思えます。(三浦)

▼キュウリには、取り過ぎた塩分を体外に排出し、血圧を下げる効果のあるカリウムが含まれています。1日の野菜接種目標量は、キュウリ(中)だと約4本分。この時期、自宅でもたくさん採れるので、大量消費も兼ね、キュウリで健康の一步を踏み出します。(小野寺)

▼夏休みの終盤に宿題で苦勞する子どもの姿は、わが家の恒例行事となりました。道の駅津山で開催された親子木工教室を取材しましたが、宿題の中でも工作は親と一緒に考えて手伝う人も多いのではないのでしょうか。私も子どもと一緒に工作を楽しみます。(高橋)



#### 登米市メール配信サービス

(防災や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。)  
<https://mail.cous.jp/tomecity/>

